

夢がやき ともに学びをきりひろく 心豊かな西っ子の育成 真の「生きる力」をめざして

今年度掲げた3つの実践目標について振り返りました。

1 基礎・基本を大切にされた確かな学力（知）

朝の学習タイムで、音読・読書・読み聞かせ・計算を継続的に行い、言語活動や計算力の充実に取り組みました。特に1学期終業式とオープンスクールで行った音読発表会は感動的なものでした。

授業の中では5、6年生の兵庫型教科担任制を充実させるとともに1～4年生では算数の教科専門指導教諭と連携しながら学力向上をめざしました。

2 命を大切に、友だちや仲間を思いやれる豊かな心（徳）

道徳の時間を道徳教育の要として研究を進めています。自分の生き方を振り返りながら道徳的価値を高め道徳実践力につながる授業をめざしています。11月のオープンスクールでは全学級で道徳授業を公開しました。また、毎月11日を「人権を確かめ合う日」として、仲間はすれやいじめについて学級指導を行いました。

3 困難にくじけないたくましい健康な体（体）

体育の授業の充実はもちろんのこ



▲オープンスクールで音読を発表する6年生

と、なわとび検定やランランタイムなどで自分の記録に挑戦し、そのことでたくましい健康な体づくりを目指しました。昨年はロンドンオリンピックでの日本選手の活躍もあり、子どもたちも刺激を受けて自己記録更新にがんばりました。特に厳しい練習に耐えて成果を発揮した運動会や音楽会ではすばらしい成長の跡がみられました。

何をやるにも100点を目指して始めますが、簡単にはとれません。しかし、あきらめることなく今年度の実践が来年度につながり100点に限りなく近づくように全職員一丸となってがんばりますので、保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

希望あふれ ともに学び合い 未来に輝く南っ子の育成

創立30周年を迎えた本校では、開校以来変わらない〈夢と希望を持って、未来に羽ばたく子どもたちを育てていく〉ことを教育理念として再認識し、学校目標を次の通り変更し、教育活動を推進してきました。

成果

◎言語活動の充実 — 「ことば」の教育—

「ことば」の教育は、あらゆる知識の基盤であると共に、感性・豊かな心の育成に欠かすことのできない、また社会で生きていくためのコミュニケーション能力の中核をなすものです。本校ではこの観点に立ち、次のような取り組みをしてきました。

- 全校音読交流会「あいうえお集会」
- 異学年音読交流会
- 全職員研究授業（国語科を中心として）

こうした取り組みの中で、本校の「ことば」の教育の目標である「自分の思いを表現できる子」が育っていることを実感します。

◎特別活動の推進

「自分の思いを表現できる子」への育ちは、単に授業にとどまらず、子どもたちの生活全体の中で体現されるものであってほしい。その思いから、本校では、

音楽会や児童集会などを工夫し、「ことば」の教育の推進を図り、その成果を得ているものと感じます。

課題

新学習指導要領では言語活動の推進が謳われていますが、言語活動は、全ての教科・全教育活動の中で実践する必要のあるものです。本校の「ことば」の教育は、なお全教科へ発展されなければならないものです。その中で単に知識・技能面だけでなく、「豊かな心」づくりも今後推進していく所存です。



育ち合う 豊かな心 元気な体 一子どもたちの 豊かな言葉をはぐくむために—

本園では、人とのかかわりの中で幼児が言葉で自分の気持ちを伝え、友達と分かり合っ遊ぶ楽しさが味わえる豊かな経験を積み重ねていけるように努めてまいりました。



▲見てみて こんな氷を見つけたよ

本年度の主な取り組みの成果

○遊びや自然とのふれあいを通して

- ・遊びのなかで、自分の思いを素直に言葉で表現できるようになってきています
- ・様々な身近な自然とのかかわりや感動体験を通して、感じたことを言葉や体などで表現しようとする姿が見られるようになりました

○教師や友達とのかかわりを通して

- ・安心して自分が出せる雰囲気づくりに努め、一人ひとりの

とりの幼児とゆったりとかかわることで、人に対する信頼感が育ち安定して生活しています。相手の考えを受け入れたり違いに気付いたりすることの大切さを知らせていくことで、互いの考えを認め合ったり言葉を使って自分を表現しようとする姿が見られるようになりました。

○地域や家庭とのかかわりを通して

- ・具体的な子どもの育ちを保護者に伝えることで、一緒に子どもの育ちを感じ、育んでいくことができました
 - ・シニアクラブや絵本ボランティアなど地域の様々な人とふれあう中であたたかい気持ちや言葉にふれることができました
- 今後も、家庭や地域の皆さまとの連携を大切に、心豊かで元気な体の幼児の育成を目指し努力してまいります。

「強い思い」の結果は？

1 子ども一人ひとりを大切にします

話をよく聞き、教師の気付きを大切に子どもと関わっています

2 基礎・基本を身につけさせます

日々、個別に身につけています

「言葉」を歌と手話で▶

3 丈夫な体をつくります

よく体を動かし、よく食べる指導を続けています

4 皆さん、学校へどうぞ！「オープン播磨小」です

普段の子どもの姿を公開しています。ママ友カフェ（学校に来て、気楽にくつろげる場所）・ママ友ランチ（月に2回程度オープン。給食を食べ、食後のお茶、



教室訪問を通して人と人をつなぐ）で、保護者同士がつながり、普段の学校の様子を知り、学校に親しみやすくなったと好評です。

※播磨小ホームページ「校長のきまぐれつぶやき」をご覧ください。

挑戦・変革・追究 「未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成」

蓮池小学校では、「挑戦・変革・追究」を合い言葉に、学校力の充実に取り組んできました。

① 学びの充実

県の「ことばの力」育成事業指定2年目を迎え、今年度から理科も加えて、11月に「説明する理数教育」として多数の先生方をお迎えし、授業公開、事後研修会を行いました。また日本語検定にも積極的な取り組みを続けています。高学年を中心とした兵庫型教科担任制も軌道に乗ってきました。

② 課題教育への取り組み

医師会、警察、厚生労働省の協力を得て、4年生から6年生まで発達段階に則して禁煙（防煙）及び薬物乱用防止教育を実施しています。また、関係機関と連携し、環境体験学習や福祉体験学習にも積極的に取り組んでいます。

③ 学校、家庭、地域の連携

登下校の安全を図るため、PTAとともに危険箇所

の点検を行い、行政機関と連携して改善に努めました。

野添コミセン主催の「ほめて育てる蓮池っ子」も3年目に入り、地域との結びつきが深まっています。

父親母親によるボランティアグループ「灯足るの会」や「なでしこの会」の皆さんのお陰で、目に見える環境だけでなく見えない面での環境も充実しています。グリーンスクール表彰もいただきました。

保護者・地域の皆さまには、学校行事や学習活動、また登下校の見守りなど、たくさんお世話になりました。引き続き温かいご支援をお願いいたします。

http://www.hasuik.harimakyoiku.jp



▲喜瀬川での環境体験学習

